

第7章 観光振興戦略について

本計画では、本県観光を取り巻く環境の変化や課題を踏まえ、計画の目標を達成するため、以下の4つの戦略に基づき、具体的な施策を展開していきます。

1. 受入環境の整備

- ① 県民主役のおもてなしの推進
- ② 美しい景観づくりの推進
- ③ 地域資源の保全、磨き上げ
- ④ 外国人旅行者の受入環境整備
- ⑤ 旅行者の安全性、利便性及び快適性の確保

2. 地域資源の活用

- ① 着地型観光・ナイトタイムエコノミー等の推進
- ② 富裕層を取り込む観光メニューの充実
- ③ 県産品を活用したツーリズムの推進
- ④ 文化・スポーツなどを活用したツーリズムの推進
- ⑤ 国立公園を含む山岳観光の推進

3. 魅力が伝わる情報発信

- ① 情報のデジタルシフトの推進
- ② ターゲットを意識した情報発信
- ③ 国際観光プロモーションの展開
- ④ 国際交流の促進

4. 観光産業の活性化

- ① 観光産業の生産性の向上
- ② 観光人材の育成・確保、定着支援
- ③ 他産業と連携した経済波及効果の拡大
- ④ 冬季観光の活性化などによる安定雇用の促進
- ⑤ 文化・スポーツの観光活用による産業活性化
- ⑥ 国立公園等の観光活用による産業活性化

1. 受入環境の整備

地域全体で温かく旅行者を迎えるため、住民の郷土教育やおもてなしに主体的に取り組む人材の育成、美しい景観づくり、文化財などの地域資源の保全、磨き上げに取り組めます。また、外国人旅行者のための多言語化など、旅行者の安全性と利便性、快適性の確保に取り組めます。

①県民主役のおもてなしの推進

a: 郷土教育の充実を図り、地域を誇る気持ちを育成

おもてなしの推進には、まず、県民一人ひとりが地域に対する理解と関心を深め、誇りと愛着を持つことが大切であることから、幅広い世代を対象に郷土について学び、新たな魅力を発見する機会を継続的に提供します。

b: おもてなしに取り組む人材の育成と活動の促進

おもてなしに主体的に取り組む人材を育成し、技術向上の機会を提供するとともに、他の模範となるおもてなしを実践している個人や団体を表彰するなど、活動の促進を図ります。



おもてなしのやまなし県民大会の様子

②美しい景観づくりの推進

a: 地域の景観活動推進

地域景観リーダー[※]の育成などにより、本県の魅力あふれる景観づくりと良好な環境保全に向けた気運を醸成し、地域の美しい景観づくりを推進します。

※地域景観リーダーとは、行政と地域住民を繋ぎ、手を取り合って地域をよくする活動に取り組み、「景観まちづくり」を広く普及する人材として県知事が認定するもの。

b: 良好な景観の保全、創出

本県の魅力的な資源である自然景観を美しく保全するとともに、果樹園等の農地、古民家のたたずまいを残した集落、町並み、沿道や個人の庭先など、本県を訪れる旅行者の目に触れる良好な景観の形成を推進します。



北杜市白州町台ヶ原宿（出典：北杜市観光協会 HP）



甲州市塩山上条地区（出典：甲州市 HP）

③地域資源の保全、磨き上げ

a: 新商品開発等による地域の特産品の付加価値向上

県内各地の日本版DMO[※]等と連携し、県産品や地域の新たな素材を生かした魅力的な土産品や食のメニューの開発などにより、地域の特産品の付加価値を高める取り組みを促進します。

※日本版DMOとは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、国が登録する法人。（以下、本計画では「DMO」と表記する。）

多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えている。



「おいしい山梨 水と太陽のレシピ」

b: 歴史、文化財、伝統芸能等の保存

平成30年（2018年）12月に「山梨県文化芸術基本条例」が制定され、文化芸術の振興等に関する基本的施策として、文化財等の保存・活用、伝統芸能等の継承・発展が定められたことから、地域の歴史的または文化的意義を有する建物や、美術工芸品、祭り、伝統芸能等について、その保存・活用や継承・発展に努めます。

また、信玄公生誕500年などを、本県の誇る歴史や文化をアピールする観光の好機と捉えて、周知するとともに、それらを次世代へ引き継いでいけるよう、市町村等と連携した取り組みを進めます。

c: 魅力的な自然景観の整備、保全

本県に所在する3つの国立公園（富士箱根伊豆国立公園・秩父多摩甲斐国立公園・南アルプス国立公園）と1つの国定公園（八ヶ岳中信高原国定公園）に代表される魅力的な自然景観について、国などと連携して、その環境整備や保全を進めます。



（出典：環境省 HP）

d: 伝統的観光地の再活性化

魅力的な地域資源が多く所在しているにも関わらず、近年の旅行形態の変化や外国人旅行者需要の取り込みなどに十分対応できていない伝統的な観光地（昇仙峡、石和温泉、身延山など）について、地元自治体や観光事業者等が推進する再活性化の取り組みを支援します。



昇仙峡



身延山久遠寺

（出典：富士の国やまなし観光ネット）

④外国人旅行者の受入環境の整備

a: 外国人旅行者が安心して旅行できる環境整備

個人旅行が増えつつある外国人旅行者の満足度を高めるため、外国語ボランティアや通訳案内士等の活用を促進するほか、スマートフォンを利用する外国人旅行者に、本県の観光情報や目的地までの経路情報を提供するため、多言語対応のアプリ「FUJISAN ACTIVITIES」の普及を図ります。

また、災害情報を多言語で提供する拠点の設置や、行政等からの支援情報を分かりやすく整理して被災者に提供するコーディネーターの育成など、外国人被災者のニーズに適合した情報が速やかに行き渡る体制を構築します。



外国人向けの避難訓練の様子

b: 外国人旅行者を温かく迎え入れる環境づくりの推進

観光事業者による外国人旅行者の受入を促進するため、セミナーの開催や専門家派遣により、キャッシュレス化や多言語化の対応、接客向上、ハラル対応等の取り組みを支援します。

また、県民と外国人住民等との共生の地域づくりを通じて、交流を充実させることにより、国際相互理解を促進します。



出典：観光庁「宿泊施設基本的ストレスフリー環境整備事業」資料を一部加工

⑤旅行者の安全性、利便性及び快適性の確保

a: 観光施設の整備及び適正な管理

旅行者が安全かつ快適に過ごせるよう、県が管理する公園、公衆トイレ、駐車場、遊歩道その他の施設を適切に整備及び管理するとともに、市町村等が整備する登山道や標識、トイレなどの施設整備を支援します。

b: 旅行者の安全性、利便性及び快適性の確保

今後増加が見込まれる高齢者や外国人旅行者など、本県を訪問する旅行者の誰もが旅行を楽しめるよう、観光施設の整備等においてユニバーサルデザインの考え方を参考とするとともに、「やまなしバスコンシェルジュ」システムの運用などによる二次交通の利便性の向上や、Ma a Sの導入可能性の検討を進めることなどにより、旅行者の安全性、利便性及び快適性の確保を図ります。

c: 災害に対する準備及び災害時の対応(一部再掲)

災害発生時に、国内外の旅行者に向けて、やまなし防災ポータルにおいて、気象情報や避難情報を多言語で提供する等、ソフト・ハードの両面から防災体制の充実を目指します。

また、災害情報を多言語で提供する拠点の設置や、行政等からの支援情報を、分かりやすく整理して被災者に提供するコーディネーターの育成など、外国人被災者のニーズに適合した情報が速やかに行き渡る体制を構築します。

The screenshot displays the Yamana Disaster Portal interface. At the top, there's a header with the logo and 'やまなし防災ポータル'. Below it, a navigation bar includes '緊急情報' (Emergency Information), '気象情報' (Weather Information), '土砂災害' (Landslide Disasters), '地震情報' (Earthquake Information), '避難勧告' (Evacuation Advice), and '避難所' (Evacuation Shelters). The main content area is divided into several sections:

- 緊急情報:** A green box indicating '緊急情報はありません。' (No emergency information).
- 気象情報 (2019/08/15 07:34発表):** A table showing weather forecasts for various municipalities. The table has two columns of municipalities and their respective status (e.g., '大雨注意報' or '注意報').
- 災害対策本部・災害警戒本部関係情報:** A list of recent disaster-related information, including dates and times (e.g., '2019/08/15 8:31') and PDF links for reports.
- 避難勧告・指示情報:** A green box indicating '避難勧告・指示情報はありません。' (No evacuation advice or instructions).
- 避難所情報:** A green box indicating '避難所情報はありません。' (No evacuation shelter information).

On the right side, there's a language selection dropdown menu with options for '日本語', '英語', '韓国語', '中国語(繁体)', and '中国語(简体)'. At the bottom of the page, there's a small footer: '気象庁ホームページ(気象警報・注意報)へのリンク'.

やまなし防災ポータルサイト

市町村、観光事業者、県民等に期待する主な取り組み

<市町村・教育機関等に期待する取り組み>

- 郷土教育の推進、地域の観光ガイドの養成
- 地域のおもてなし推進に取り組む団体・個人への支援
- 地域の美化（清掃）活動、地域の文化等の保存活動の促進
- 地域のお祭り、文化財等の保護・育成、郷土食等の継承等
- 外国人旅行者が地域や施設で食事や買い物をしやすい環境の整備促進
- 地域内での外国人旅行者受入のための技術・知識の習得の促進

など

<観光事業者・観光関係団体（NPO含む）に期待する取り組み>

- 地域の観光ガイドとの連携
- 旅行者の移動がスムーズにでき、旅行者の利便性の向上につながる地域の交通網の充実
- 地域の特産品のPR活動や、新たな加工品の開発等、地域の特産品のブランディング
- 施設内の案内や看板、メニューなどの外国語表記やピクトグラム化など、ユニバーサルデザインに配慮した取り組み
- 外国人の食生活、習慣に対応したメニュー・サービスの提供

など

<県民に期待する取り組み>

- 地域で催されるイベント等（お祭り、清掃活動、保存活動等）、地域を学ぶ機会（オープン講座等）への積極的な参加
- 道案内やあいさつなど旅行者との積極的なコミュニケーション
- 外国語や外国の文化に対する理解の深化

など

2. 地域資源の活用

コト消費型・トキ消費型といった観光ニーズの多様化や旅行形態の変化に対応するため、磨き上げられた地域資源を活用し、旅行者のニーズに適した体験型プログラムを組み込んだ、富裕層の取り込みや冬季観光の魅力向上につながる着地型観光などの推進に取り組みます。

①着地型観光・ナイトタイムエコノミー等の推進

a: 地域資源を活用した体験型プログラムの開発

地域の特産品など地域資源を活用した体験プログラムの造成を促進することで、「コト消費型」「トキ消費型」*などと称される、より高付加価値な体験を求めて来訪する旅行者のニーズに対応します。

*「コト消費型」「トキ消費型」とは、単に名所旧跡を見たり、特産品を購入するにとどまらず、その土地ならではの伝統や習慣に触れ、又は、人々との交流を通じ、新しい発見、体験を求めることを重視した旅行のスタイル



星空鑑賞



ネイチャーガイドツアー

(出典：富士の国やまなし観光ネット)

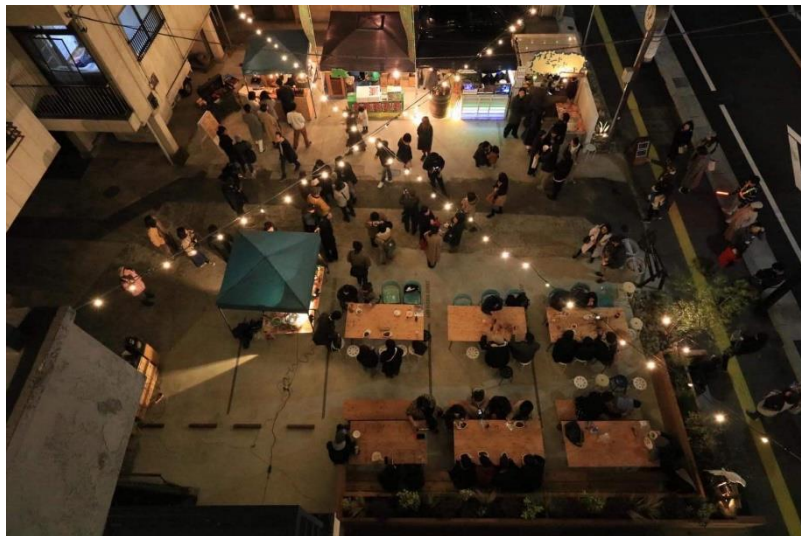
b: 地域の魅力を伝える着地型観光の推進

地域の豊かな食材を生かした料理や、早朝またはナイトタイムでの体験、四季折々の季節の変化など、地域に所在する多彩な魅力を旅行者に伝えられる着地型観光を推進します。

特に、旅行者の多くが旅の目的に位置付けている「食」の満足度を高めるため、本県ならではの新しい料理スタイルの創造や、夜の消費活動や魅力創出による経済効果の高まりが期待できるナイトタイムエコノミーなど、本県観光の高付加価値化につながる取り組みを推進します。



山梨の新しい料理スタイルの創造



ナイトタイムエコノミーの事例（にらさき夜市）

（写真提供：にらさき夜市実行委員会）

c: 冬季や平日における観光の魅力向上

本県が織りなす四季折々の魅力について、国内外の旅行者に対するPRを強化していくとともに、MICE*やワーケーション**などのビジネス需要を開拓していくことで、冬季などの閑散期や平日における観光の魅力向上に取り組めます。



研修施設におけるイベント開催事例（出典：富士の国やまなし観光ネット）



西湖樹氷祭り（冬季観光の魅力）（出典：富士の国やまなし観光ネット）

※MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称

※ワーケーションとは、ワーク（仕事）とバケーション（休暇）のことを言い、長期滞在先でパソコンなどを使って仕事をする

②富裕層を取り込む観光メニューの充実

外国人旅行者の本県への滞在状況や消費動向などのビッグデータを取得・活用し、特に高品質な商品・サービスを求める富裕層などを取り込むため、外国語ガイド付き体験プログラムの開発支援や、ガストロノミーツーリズムのプログラム開発などといった、高付加価値な観光メニューの充実を促進します。



ガストロノミーツーリズムの事例
(甲州ワインと甲斐サーモン)

※ガストロノミーツーリズムとは、その土地の食材や習慣、伝統、歴史などで育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたツーリズムのこと。

③県産品を活用したツーリズムの推進

県内各地の農村地域の古民家や伝統食などを活用した「農泊」やワインツーリズム、ハタオリトラベル（織物）のほか、富士の国やまなしフィルム・コミッション等を通じ、本県を舞台とした映画やアニメ、ドラマなどを「観光資源」として活用するツーリズムを推進します。

また、特に、令和元年（2019年）8月に行った「ワイン県」宣言に基づき、日本有数のワイン産地である地域特性を切り口として、ワインや日本酒、ジュエリーなど本県の魅力的な県産品の消費拡大につながる取り組みを推進します。



「ワインツーリズムやまなし」の様子



富士吉田市ハタフェス（写真提供：富士吉田市）

～ 「ワイン県」宣言を切り口としたツーリズムの推進 ～

本県の観光客は富士・東部圏域に集中していますが、本県には他の圏域にも優れた地域資源が多数存在しています。

例えば、近年世界的に評価が高まっている県産ワイン。

県では令和元年（2019年）8月に「ワイン県」宣言を行いました。こうしたことを切り口に、県産品を活用したツーリズムの推進に一層取り組むことで、世界遺産富士山と並ぶ観光資源の育成を図って参ります。



「ワイン県」宣言

④文化・スポーツなどを活用したツーリズムの推進

a: 歴史・文化を活用したツーリズムの推進

日本遺産に認定された峡東地域の「葡萄畑が織りなす風景」、中北・峡東地域を含む「星降る中部高地の縄文世界」などの構成文化財と地域資源のネットワーク化による周遊ルートの開発を推進します。

また、峡南地域の神社・仏閣、伝統工芸等の歴史文化を核として、温泉や食などを活用する「峡南歴史・文化ツーリズム構想」(構想期間H29～R1)への参画など、歴史・文化に着目したツーリズムを推進します。



「ぶらり富士川」サイト

b: スポーツを活用したツーリズムの推進

令和2年(2020年)の東京オリンピック自転車競技ロードレースの開催を好機と捉え、県内全域におけるサイクリングの魅力を生み出し、来訪する自転車愛好者及び旅行者にPRするなど、自転車をはじめとするスポーツを活用したツーリズムを推進します。



富士の国やまなしを全力で走るサイト+

⑤国立公園を含む山岳観光の推進

a:南アルプス観光のグレードアップ

南アルプス及び周辺地域が有する自然・歴史、文化、産業など、南アルプス地域に存在する本来の価値を磨き上げ、高付加価値を生み出す、グレードの高い観光地としてのブランド化を進めるため、国、市町村、民間団体等の関係機関と連携・協力した取り組みを推進します。



御野立所からの南アルプス北岳（写真提供：南アルプス市観光協会）

b:山岳と周辺地域が一体となった観光振興

「山梨百名山」など多くの登山客を惹きつけている本県の山岳地域において、地元自治体や観光事業者と連携し、国立公園やエコパークへの訪問、登山にとどまらず、その後も立ち寄れる周辺の観光資源と結びつけることで、幅広い層が年間を通じて楽しめる国立公園等を含む山岳観光の振興を図ります。

c:安全登山の推進

登山の安全確保のために制定された「登山の安全の確保に関する条例」に基づき、厳冬期の登山届義務化などの安全確保の体制整備や、チラシ・ポスターの配布等による登山者への安全登山の普及啓発に取り組みます。

市町村、観光事業者、県民等に期待する主な取り組み

＜市町村・教育機関等に期待する取り組み＞

- 地域における体験プログラムや着地型旅行商品の造成支援
- 観光地における魅力向上に向けた取り組みへの支援
- 外国人旅行者に好まれる地域資源を生かした観光メニューの開発促進
- 冬季・平日観光の魅力向上による観光需要平準化の推進

など

＜観光事業者・観光関係団体（NPO含む）に期待する取り組み＞

- 地域資源を活用した体験プログラムや着地型旅行商品の造成
- 他の観光地と相互に連携した誘客の取り組み
- 県内観光地をつなぐ宿泊滞在型の旅行商品の造成
- 冬季・平日観光の魅力向上による観光需要平準化の推進

など